



兵庫支部NEWS H17 3月号

北九州市立大学同窓会兵庫支部 編集発行人 名越英昭(TEL078-792-6130)
ホームページ <http://www.hi-net.zaq.ne.jp/kono> メール: nagoshihideaki@yahoo.co.jp

購読料 12回1,500円(送料込)
購読のお申し込みは郵便振替
振替口座00980-2-245822
口座名:北九州市立大学同窓会兵庫支部

兵庫支部月例会2月「三金会」

渡辺克彦氏(46米英)が来訪

2月の兵庫支部月例会「三金会」は、10年振りに、参加された渡辺克彦氏(46米英)を迎えて、2月18日スナック「フリージア」にて午後6時から開催された。



(三金会に出席の渡辺氏)

渡辺氏は、神戸に単身赴任中に積極的に支部活動に参加され、兵庫支部の新聞創刊に尽力され、支部総会にアトラクションを取り入れるきっかけを作るなど、その活躍ぶりは支部会員には忘れられない存在となつてい

が、新しい三金メンバーに改めて紹介して、三金会の議事に入った。

報告事項

1. 訃報

木下欣吾氏(26外専)2月11日急性心筋梗塞にて死去。享年82歳。兵庫支部NEWS購読者であり兵庫支部・関西支部の総会に出席されていた。ご冥福をお祈りします。

2. 歩こう会2月オフ会

冬の金剛山登山(別項参照)

参加者:二宮、平間、名越 ゲスト 謝、陳、豊嶋



二宮、三宅、前原、榎林、平間、安徳、大村、渡辺、高尾、名越、伊藤、銭谷

協議事項

1. 支部総会開催の件

開催日:7月2日(土)または7月3日(日)とし、アトラクション出演者の都合により決定
開催場所:姫路ワシントンホテルプラザを第1候補と

懐かしい兵庫支部三金会に参加して

渡辺克彦(46米英)



阪神淡路大震災からもう10年が過ぎ、久し振りの神戸三ノ宮を訪問して、その当時の日々を思い出した。単身赴任中には皆様に大変お世話かけましたが、楽しい思い出だけが印象に残っています。大学の同窓会の先輩、後輩という間柄だけで親身になってお世話いただき、先輩や後

輩の友情は何にも替えがたい心の温もりです。10年ぶりに再会した同窓の歓待など嬉しい限りです。

今回の旅は、息子との二人旅で東京から北九州まで、車の移動でした。高速道路の途中で神戸に泊ろうと思ひ立ち、安徳さんに車の中から携帯電話でその旨を話すと早速皆さんに連絡をとってくれ、宿は榎林さんの好意で神戸三ノ宮のワシントンホテルプラザを予約してくれました。車の駐車場のことまで心配してくれ、ホテルの駐車場を確保してくれました。

神戸到着は18:30で、久し振りの土地ですが、ホテルの場所は判っていたのですが、道路が一方通行のことを忘れていて、三ノ宮をぐるりと一周して無事ホテルに到着しました。榎林さん(姫路ワシントンホテルプラザの総支配人)は、三ノ宮まで出向いてくれ、雨の中駐車場

で待っていてくれました。2月18日は第三金曜日で兵庫支部三金会の定例の日偶然でしたが、榎林さんに連れられて参加できました。

神戸にいた時は率先して三金会に出ていたおかげで、懐かしい顔ぶれが揃っていて歓待されました。また新しい顔ぶれ(先輩ですが)も多数参加されていて神戸の同窓会の活発さが嬉しかった。だたお酒を飲む会ではなく兵庫支部をどう活性化するかなど皆さん熱心に討議されていて、支部総会・懇親会のことを決め手から、その後お酒を飲みながら歓談となりました。(次頁に続く)

して下見実施のうえ決定する。

アトラクション:銭谷氏紹介のジャズボーカリストの山口恵美さんを予定し、日程を確認する。
その他の事項については次回に協議する。

2. 塩江温泉一泊旅行の件

3月12日(土)ー13日(日)三金ゴルフ会、歩こう会および囲碁の会の三者共同開催で実施する。
2月18日現在の参加予定数は、ゴルフ組12名、歩こう会組8名の合計20名。



損害保険・医療保険・がん保険
の総合保険代理店

安心の発信基地

大村保険サービス

代表 大村実良
(昭和33年商学部卒)

652-0897

神戸市兵庫区駅南通3丁目4-1-302

TEL 078-671-7318 FAX 078-671-8318



《自然木 高級檜造りの家》

増改築・新築・不動産全般

㈱瀬戸内ホーム

代表 永翁正臣
(昭和41年 商学部卒)

〒671-1103

姫路市広畑区西夢前台6丁目2番地

Tel. 0792-36-0833

Fax. 0792-36-0905

懐かしい兵庫支部三金会に参加して(続き)

私が神戸にいたときは、お酒を飲む会の趣が大半でした。よくも進歩前進したものです。

ところで、最近同窓会の有り方が、私の周りで問題となっています。世界中で昨今の流れの中でいろんなことで改革が話題になっています。同窓会にしてもその流れに逆らうことは出来ないようです。年寄りと若人との、考え方の相違が取りざたされています。

- ・同窓会に若い人の参加が少ない
- ・会費の集まりが悪い

・女性の参加をもっと多くしたい
 ・同窓会に行っても面白くない。
 ・年寄りが同窓会を我が物のようにして不愉快だ。等等
 これは殆んどが若い人たちの言葉ですが、問題解決はそういう若者の言葉を理解して一緒に同窓会を運営していく老人たちの姿勢が大切ではないでしょうか。

年寄りの皆さんも、若いとき同窓会に参加して良かったと思えることがあったからこそ、続けて参加されているのでは。若い人たちにも、その感動を感じることが出来る同窓会にするべきです。

なにか、いま私自身が直面している同窓会の有り方の問題などを述べました。すみません。

同窓会のホームページについて提案があります。

昔、出身校へ卒業生が外向いて企業説明会を開いて、学生を募集していました。それを同窓会のホームページで先輩として企業のPRをして、広く学生たちがアクセスしてくれるようになれば、同窓会HPの魅力も、一層増すのではないのでしょうか。各分野で先輩たちが活躍している現状を学生たちに理解されればと思っています。

また、私の個人的で少し公的なホームページ「渡辺倶楽部」で北九大同窓の情報もページを作って載せています。フランスに国際結婚して住んでいる大学時代の仲間の便り、インドでメダカ小学校を熱心に運営している仲間、高森千賀子さんの便りなど、同窓でもない人もホームページを覗いているようです。ボランティアに興味を持っている人には、結構うけています。

東京に居ても、郷土「北九州」の関連のホームページとして他のホームページにリンクされてもいます。

兵庫支部のホームページもよく見えています。

兵庫の同窓会の会員は年齢から考えるとインターネットなどとは無縁かと思われそうですが、多数のインターネット愛好者がいて頼もしい限りです。これも校風でしょう。学生時代英文タイプライターでレポート提出したおかげで、キーボードはお手の物ようです。

いろいろ書きましたが、私は同窓会という組織は世の中で大切な物の一つだと確信しています。和気藹々と、交流できる会こそ、みんなが参加して良かったと言えるのではないのでしょうか。

利害関係ではなく、親身になって相談しあえる人達のグループが同窓会の有り方だと信じてこれからもボランティアして行きます。

名越支部長、大村さん、伊藤さん、二宮さん、安徳さん、楢林さん、三宅さん、また初めてお会いした先輩の方々、有り難うございました。お蔭様で北九州への旅の思い出が一つ増えました。

投稿大歓迎

皆様のご投稿を待っています

随筆、旅行記、自分史、短歌、俳句、川柳、写真、本紙に対するご意見・ご感想、何でもOK

広告大歓迎

掲載料：1/10ページ 1回500円

お申し込みは6回分3,000円をお願いします

インド便り 一第14回一**生徒たちの食事情**

高森千賀子(44米英)

メダカ小学校の始業時間は8時だ。10時から30分間が休憩時間でランチタイムでもある。生徒は各自弁当持参だ。インドでは食事時間がずれていて、この弁当が昼食ではなく朝食となる。

弁当の中味は、ほとんどの生徒がチャパティ(ローティとも呼ばれる)という、フスマ入り小麦粉を水で練ってホットケーキを薄くしたように焼いたものと、マンゴーで作った酸っぱい漬物だ。野菜のおかずを持ってくる生徒もいるが、メダカ小学校の生徒たちは貧しい家庭の子供たちなので、食事はいたって粗末だ。

一般家庭の毎日の食事は、チャパティと豆のスープや野菜料理だ。細長い米のご飯もある。豆のスープは日本の味噌汁に値する。野菜は旬のものしかなく、年中手に入るのはジャガイモ、玉ねぎ、トマトなど。玉ねぎ、トマトは料理の素として使うので、ジャガイモが料理の主体となる。ジャガイモは1キロ15円ほどで、値段は玉ねぎと共に1年中安定している。トマトは1和5~50円と変動が激しい。

ジャガイモとキャベツ、又はカリフラワーやなす等のように、ジャガイモと他の野菜の組み合わせが多い。しかし、貧しい家庭ではたっぷりのスープの中に、ジャガイモのかけらがチラホラ見え隠れするというおかずだ。これでは育ち盛りの子供たちには栄養が足りるはずがなく、体格は日本の子供たちより1回りも2回りも小柄だ。肥満児なんて皆無だ。栄養検査をしたら、大半の子供たちが栄養失調という結果が出そうだ。

1~2月は1日の気温の差が大きく、朝晩は冬でも、日中は夏というような気候だ。そのため生徒たちはこの時期、体調を崩して毎日数人が欠席する。この栄養失調ではすぐに熱を出したり、お腹をこわすのは当然である。

しかし、我がメダカ小学校の生徒は、少々の発熱でも勉強したいと、学校に登校して来る。教師たちは生徒の体調を観察していて、熱があれば帰宅させたりと、常時注意を払っているこの頃だ。

* * * * *

荷物が届きました。有り難うございます

(3月1日付着信メールより)

本日、安徳さんが日本から持ってきて下さった荷物が届きました。デリーの会社の社長さん宅に保管されていたのを送って下さったものだと思います。皆様がこうしてご協力してくださり本当に嬉しいです。

沢山の衣類、本当に有り難うございます。今は暑くなったので、冬物は次回の冬に配布させていただきます。これから着れるものは与えたいと思います。先生方にもあげます。

鉛筆などの文房具類も有り難うございます。とっても助かります。もしいろんな方々から戴いたのであれば、御礼をお伝えくださいますか。宜しく願いいたします。

あと1ヶ月もすると年度末の最終の試験です。それが終わると6月末まで長いお休みに入ります。今、教師達は、最後の指導に熱を入れているところです。

また、1週間したら、シラバトリという大きなお祭りがあります。この小さな村に何万人という人々がお寺にお参りにきます。そして、広場ではテント小屋のお店が何百とでき、また移動遊具(観覧車など)やサーカス、見世物小屋などができ、2週間ぐらい続きます。毎年、学校の生徒たちを連れて遊びに行っていますので、今年もそのつもりです。

それではまた。 ナマステ!

北友会ニュースより**《平成16年度第9回役員会》**

平成17年最初の役員会が1月17日午後6時半から同窓会館1階の多目的ホールで開かれ、山下会長以下、役員17人と村山事務局長が出席しました。

<会長あいさつ>

今年初めての役員会です。今年もよろしくお願ひします。今日は6400人余が亡くなった阪神・淡路大震災からちょうど10年目、昨年は新潟県中越地震、スマトラ沖地震、インド洋津波と大きな震災が発生しました。これらの災害に対してハード面は、整備できても、人々が支え合うというソフト面は、まだまだという気がします。同窓会が大切なのは、まさにこのソフト面、皆さんのお力を借りてソフト面の充実を図りたいと思っています。

<議題>**大学の独立行政法人化について**

今年4月から実施される北九州市立大学の独立行政法人化について大学事務局の三坂敏博次長、丸山聡庶務課長が特別に出席して説明しました。

平成16年度の予算執行状況について

平成17年度の予算編成の参考にする為、村山事務局長が昨年12月までの予算執行状況について説明した。

今秋の第55回総会と評議会などの日程について

村山事務局長から日程について説明がされました。

第55回総会は11月20日(日)、前日の3会議、(平成17年度第2回評議会、全国支部長会、ひまわりの会)は11月19日(土)。会議はいずれも北九州市小倉北区のステーションホテル小倉。

なお、平成17年度第1回評議会は5月28日(土)ステーションホテル小倉で開催の予定です。

諸会議の日程について

下記支部総会などに出席する本部役員を決めました。
宮崎支部総会(2月5日) 山口支部総会(2月19日)
宇佐・高田支部総会(2月20日)
武道館開き(1月22日) 留学生論文発表会(2月14日)

<報告事項>

下記諸会議に出席の本部役員が会の模様、感想などについて報告しました。

日田支部総会(12月9日) 大分支部総会(12月11日) 山口県内6支部長会議(1月16日) 会則検討委員会初会合(12月22日)

会則検討委員会は昨年4月の会長選考委員会の際、会即の不備が指摘されたことから、主として「北九州市立大学同窓会役員及び評議員選出規定」を見直す為初会合が開かれたもので、今後、月に1回の割で会合を開き5月の平成17年度第1回評議会までに具体案をまとめルことになっています。

なお、会則検討委員会のメンバーは10人。委員長に進昭紘小倉支部長、副委員長に岸野利之本部幹事長を選出。その他の委員は〔支部代表委員〕秋本純一(下関) 大和直琴(八幡) 田村允雄(福岡) 佐藤政治(行橋・京都)

〔本部代表委員〕久保田澄、中川八重子、水上啓二、土田久好=敬称略=で、初会合にはオブザーバーとして本部から山下建治会長、石田雅教副会長が出席しました

山口県内6支部長会議は、本部の1県1支部の方針に付いて話し合うためのものです。1県1支部は難しいが2年に1回、県内の6支部が合同で総会を開くことを決めました。

《平成16年度第10回役員会》

新年の懇親会を兼ねて2月19日午前11時から北九州市門司区の国民宿舎めかり山荘で開き、江口相談役、

山下会長ら役員20人と村山事務局長が出席しました。
<会長あいさつ>

新年の役員会は、これまで泊り込みで開催していましたが、今年は経費と時間を節約する為に日帰りを実施しました。今日は役員会のあと、各ブロックごとに来年度の事業計画を話し合ってください。

<議題>**卒業生激励会の役割分担について**

3月19日の学位授与式当日に、北方キャンパスで、恒例の「卒業生を激励する会」を開きますが、その役割分担を決めました。

また、今年は国際環境工学部の1期生が卒業しますので、ひびきのキャンパスでも卒業生を送る会が開かれ、同窓会は後援会とともに支援します。ひびきのキャンパスの送る会は学生や教職員の主催で、山下会長や一部役員が参加します。

卒業祝賀号の発刊について

北友会会報の臨時号として今年も「卒業祝賀号」を、発行することが報告されました。

各部門別の来年度の事業・運営方針について

事務局長が平成16年度第1回評議会に提案した事業運営方針について説明、役員会終了後に各ブロックごとに集まって来年度分について話し合うよう要請しました

本部役員の旅費規定改正について

本部役員が各支部総会に出席する際の旅費は、近距離以外の出張について日当5,000円、宿泊料12,000円と規定されていますが、経費節減のため日当3,000円、宿泊料8,000円に改めたいと会長が提案。今年2月1日にさかのぼって実施することにしました。なお、同窓会旅費規定は、会則検討委員会に諮って改正することになりました。

弓道部への褒賞金支給について

第42回九州学生弓道選手権(昨年10月アクション福岡)で男子個人で相澤慶太君が準優勝、女子団体で、3位、第40回九州学生弓道新人線指宿大会(昨年12月指宿市総合体育館)で女子個人で川中文絵さんが2位に入りました。同窓会サークル活動等褒賞規定に基づき弓道部に75,000円を支給することを決めました。

<報告事項>

宮崎支部総会(2月5日)に出席した本部役員が会の模様、感想などを報告。また、武道館開き(1月22日) 会則検討委員会(2月4日) 応援団歓送会(2月13日) 留学生論文発表会(2月14日)などが開催されたことが報告されました。

次回役員会は3月22日(火)の予定

メダカ小学校支援物資募集

兵庫支部では、ご家庭で死蔵されている古着、文房具などの不用品のご寄贈を受け付けています。

1. 5歳から15歳位までの男女子供服、ソックス、靴(全て洗濯済み)
2. 大人用(先生)の衣服類。
3. 鉛筆・ノート・消しゴムなどの学用品

通関時の荷物抜き取りが皆無とは言えず、また、現地までの運送費が高く、安徳信義氏(44商)がインド出張の際手荷物として持参し、取引先に一時保管のうえある程度荷物がたまった時点でカジュラホへ送ります。ご寄贈品送り先

532-0004大阪市淀川区西宮原2-2-17-305

有限会社アストロセールス

安徳信義様

Tel. 06-6394-3400 Fax 06-6394-3473

歩こう会2月オフ会

冬の金剛山登山

恒例となってきた2月の金剛山登山を今年も実施し、二宮、平間、名越の3名が参加、ゲスト参加者は、謝、陳及び豊嶋（山上にて合流）の合計6名だった。

筆者は今回で3回目で、いずれも2月の登山であるが今回初めて素晴らしい樹氷の世界を観ることができた。

同行の平間氏は20数回目とか、1週間前にもかつての職場仲間と登ったばかりとのこと。



(樹氷をバックに二宮、豊嶋、謝、平間、陳、名越)

午前7時阪神梅田駅西出口に集合し、地下鉄・南海電車と乗り継いで午前8時過ぎに河内長野駅に到着。増発のバスに乗り込み「登山口」で下車。

天気もよく、雪もなし。早速上り始めたが、もの数分も経たない内に心臓がバクバクと動悸を打ちはじめ息切れしてくる。

同期の平間氏と年相応に無理をしないでゆっくりと登ろうと話しながら行く。

昨年は早々と、アイゼンを取り付けたように覚えているが、今年は殆んど頂上近くまで、雪が無い。早朝登山の人達だろうか、アイゼンを片手に下山してくる人があり、聞けば頂上には結構雪があるらしい。

頂上近くまで来ると、彼方此方に小鳥の餌台が据え付けられて、それを目当てにやってくる小鳥たちが登山者を喜ばせていた。

空も一転して曇り空となり、粉雪がちらつき始め、アイゼンを取り付けて登ることとなる。視界も悪くなり冬の登山らしくなってきた。

豊嶋氏が山上で待っているからと謝さんと陳さんは足早に頂上へと向かい、われわれ3人は粉雪舞う中をゆっくりと頂上へ向い、11時ごろにやっと到着した。頂上の温度計はマイナス3度を示していた。



豊嶋平和氏は河内長野市にお住まいで、神戸まで通勤されていた由。2時間はかかるだろうが、それでもスナック美華の常連さんで、今回は謝さんと山上で会う約束だったのです。

頂上にある山小屋でビールを用意して待機していただき、すっかり御馳走になってしまった。

豊嶋氏の案内で、樹氷のきれいな場所へと行き、記念撮影をする。(左の写真)

昼食は、昨年と同様にキャンプ場まで下りることとし子供たちのそり遊びで固められた雪道を通り、2キロ余の緩やかな下り道をおりてゆく。

キャンプ場では昨年の経験から、今回はお湯を魔法瓶に詰めて持参したお蔭で、短時間で沸騰させることができ、熱いカップラーメンをすすり体を温めることが出来た。



(キャンプ場まで雪道を下る)



(ラーメンを食べ終わって)

と下りて行く。誰かさんが見事に尻餅をついていたが、大事には至らなかったようだ。

麓近くになってやっと雪も無くなり、足取りも軽く、百ヶ辻の南海バスターミナルに到着した。

帰路は30分程度の道のりであるがかなり下の方まで雪道が続きアイゼンがはずせないため膝に余分な力が入り痛くなってきた。もうこの辺で良からうとアイゼンはずしたら又々雪道となり、ないようにとへっぴり腰でそろそ

地震十年の薄陽化は粧

阪神淡路大震災から10年目の朝を迎えました。表通りから一步入ると震災で倒壊した家屋を撤去した名残の空き地が残っています。昨夜からの雪が空き地の隅にはまだ薄っすらと残っていました。

投稿者 思案亭

兵庫支部月例会『三金会』会場

毎月第三金曜日午後6時～8時

すなっく

フリージア

神戸市中央区北長狭通2-5-1

タイシンサンセットビル6F

電話078-392-2466



お気軽においで下さい

